

# 保物セミナー2019

# 保健物理の未来を拓く技術革新

## 2019.11.29(金) 10:00~19:30

### 大阪科学技術センター8F大ホール



◇主 催 保物セミナー2019実行委員会

◇定 員 300名

◇参加費 セミナー 5,000円

ボイリング 5,000円

申し込み・お問い合わせ先

保物セミナー2019実行委員会事務局

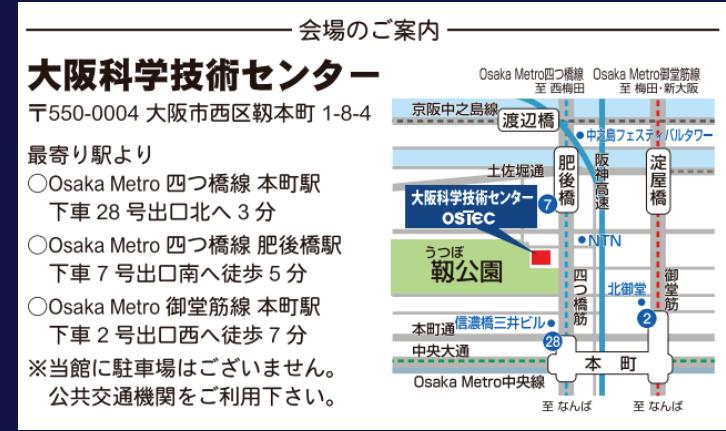
大阪府大阪市中央区南船場3-3-27

サンエイビル2F 安全安心科学アカデミー内

保物セミナー事務局

Tel/Fax 06-6252-0851

Email : seminar@esi.or.jp



共催団体:(一財)大阪科学技術センター、(一財)電子科学研究所、(特非)安全安心科学アカデミー

協賛団体:(公社)日本診療放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会、(公財)体質研究会、

(予定) (公財)放射線影響協会、(公社)大阪府診療放射線技師会、(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会、

(公社)日本アイソトープ協会、(公財)原子力安全技術センター、(一社)日本原子力学会 関西支部、

(一社)日本非破壊検査協会関西支部、(公財)原子力バックエンド推進センター、

(一社)日本原子力産業協会、(一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

関西原子力懇談会、医療放射線防護連絡協議会、(一社)日本放射線安全管理学会、

(一社)日本保健物理学会、(公財)原子力安全研究協会、製薬放射線コンファレンス

(順不同)

# 保物セミナー2019 プログラム

開会挨拶 辻本忠 実行委員会委員長（安全安心科学アカデミー 理事長）

テーマ1 人工知能技術の活用と将来展望

時 間：10時00分～12時00分

座 長：佐藤文信（大阪大学 教授）

講 演1：人工知能・機械学習の工学問題適用のための課題  
和田義孝（近畿大学 教授）

講 演2：自己組織化マップ（SOM）による特徴抽出の放射線生体影響評価への応用  
神崎訓枝（日本原子力研究開発機構 研究員）

講 演3：福島第一原子力発電所における自動運転EVバスの実用化と課題認識について  
栗山雅充（東京電力ホールディングス(株) 課長代理）

総合討論：

テーマ2 電磁界における最新技術

時 間：12時50分～14時50分

座 長：山本幸佳（大阪科学技術センター電磁界に関する調査委員会 委員長）

講 演1：マイクロ波無線電力伝送及び電磁波環境発電の研究開発現状と将来展望  
篠原真毅（京都大学生存圏研究所 教授）

講 演2：近距離無線電力伝送の電気自動車応用  
三木隆彦（トヨタ自動車(株) 主幹）

コメンテーター：電磁波の生体影響（国際動向とこれから）  
宮越順二（京都大学 特任教授）

総合討論：

テーマ3 低線量放射線の健康影響

時 間：15時00分～17時00分

座 長：児玉靖司（大阪府立大学 教授）

講 演1：LNT仮説の不実性：低線量放射線は長寿と制癌に有効  
須藤鎮世（就実大学名誉教授）

講 演2：低線量放射線とがん：免疫・ストレス・食の影響  
宇野賀津子（（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター 研究室長）

総合討論：コメンテーター 下道國（藤田医療大学 客員教授）

閉会挨拶 山本幸佳 実行委員会副委員長（大阪大学名誉教授）

ボイリング・ディスカッション

会 場：大阪科学技術センター地下1階

時 間：17時30分～19時30分